

霧島市地域包括ケア・ライフサポートワーカー活動報告書 【 7月分 】

氏名	玉城 一代	3期生	B班	事業所名	デイサービス 憩の里
----	-------	-----	----	------	------------

①地域の方々からの介護・生活相談

・前月相談のあった94歳女性の通所希望について、住所地以外の地域密着型事業所への通所に伴う諸手続きと申請を実施。7月21日鹿児島市と霧島市の同意のもと担当者会議を実施し、7月22日よりご利用開始。
 ・鹿屋市の病院に入院中の74歳女性（骨粗鬆症のため背骨の自然骨折。要介護2、認知症なし）の通所受け入れのご相談が娘さんよりあり。退院後、憩の里に隣接のマンションで一人暮らしの予定。入浴サービスと昼食サービスをご希望との事で5時間程度、週2回のご利用を希望。ご本人の意向も組み入れ担当者会議を実施し1回通所されたが、ご本人が、出掛ける事への不安が強く、また、行くなれば病院系列が良いなど意向の変化あり一旦中止となる。娘さんは、子育て中であり、生活リズムが違いため同居は困難、これからどうするべきなのか不安と疲れを感じるとのこと。娘さんは週2回通所し入浴と食事を希望されるがご本人の拒否もあり、また在宅へ他人が来る事も拒まれる性格とのこと。CMとも連携のうえ方向性を検討していくことも説明し、まずは、ご本人の意向を優先し、再骨折の心配や不安は大きく、リハビリは受けたいとの意向もあるため、きりしま内科の短時間のリハビリサービスから開始するなど段階的なサービスのご利用を提案し、きりしま内科へ繋いだ。

②自治会活動・地域ボランティア活動の参加・連携

・8月26日開催予定の憩の里運営推進委員会の案内とご挨拶へ出向いた。（近隣の事業所2件、自治会長さん）
 ・7月20日
 同事業所 住宅型有料老人ほーむ あっ&ほーむ及びデイサービスぽっかぽか施設長主催、「地域住民と近隣事業所との安全管理の協力体制作り」の主旨で話し合いが開催され出席した。剣之宇都地区 自治会長さん他、住民の方々、近隣福祉事業者3事業所の施設長さん、管理者さん参加（総数10名） 非常災害時の避難場所と協力体制について、緊急時の協力について、住民の困りごと相談についてなど話し合いがなされた。

③介護予防教室、サロン、食事会、家族会等の開催

・7月11日 絵手紙教室

④認知症サポーターの養成、小中学校への福祉教育、介護者教室の開催

⑤「私のアルバム」の普及・啓発

⑥グループ活動

・7月29日 13:30～ B班 会議

<今後の活動予定又は課題等>

- ・地域密着型デイサービスへの移行の関する情報収集と基盤作り。困ってる方の相談の場となるよう普及活動を行う。
- ・地域の方との交流及び連携。
- ・デイサービス 憩の里 推進運営委員会の準備をすすめる。

※翌月10日までに、霧島市地域密着型事業者連合会事務局に提出（郵送・メール・FAX可）する事。